



# 平成24年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 佐賀銀行  
コード番号 8395 URL <http://www.sagabank.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 松尾 靖彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 坂井 秀明

四半期報告書提出予定日 平成23年11月25日

配当支払開始予定日

TEL 0952-25-4555

平成23年12月5日

特定取引勘定設置の有無 有

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	20,400	△3.9	4,966	△3.7	2,890	38.0
23年3月期中間期	21,238	△3.3	5,158	43.4	2,093	△3.1

(注) 包括利益 24年3月期中間期 2,599百万円 (—%) 23年3月期中間期 △186百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期中間期	17.21	—
23年3月期中間期	12.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	2,036,953	94,888	4.5	12.20
23年3月期	2,047,081	92,941	4.4	11.88

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 92,190百万円 23年3月期 90,320百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注) 「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	△4.5	6,700	△11.2	3,000	11.2	17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(中間期)

24年3月期中間期	171,359,090 株	23年3月期	171,359,090 株
24年3月期中間期	3,547,403 株	23年3月期	2,916,634 株
24年3月期中間期	167,884,383 株	23年3月期中間期	170,057,615 株

#### (個別業績の概要)

1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	20,142	△3.5	4,802	△1.6	2,873	38.5
23年3月期中間期	20,874	△3.4	4,885	38.6	2,074	△3.2

	1株当たり中間純利益
	円 銭
24年3月期中間期	17.11
23年3月期中間期	12.19

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	単体自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	2,036,766	91,395	4.4	11.86
23年3月期	2,046,769	89,543	4.3	11.61

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 91,395百万円 23年3月期 89,543百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,400	△4.5	6,400	△11.3	3,000	12.7	17.87

#### ※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表および中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

【添付資料】

目次

1. 当中間決算に関する定性的情報		
(1)連結経営成績に関する定性的情報	.....	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	.....	2
(3)連結業績予想に関する定性的情報	.....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項		
(1)当中間期における重要な子会社の異動	.....	3
(2)追加情報	.....	3
3. 中間連結財務諸表		
(1)中間連結貸借対照表	.....	4
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	.....	5
(3)中間連結株主資本等変動計算書	.....	7
(4)継続企業の前提に関する注記	.....	10
4. 中間財務諸表		
(1)中間貸借対照表	.....	11
(2)中間損益計算書	.....	13
(3)中間株主資本等変動計算書	.....	14
(4)継続企業の前提に関する注記	.....	17
5. 補足情報		
平成24年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料	.....	18

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の我が国経済は、3月の東日本大震災以降停滞していた企業の生産活動が部品供給の復旧等により持ち直していることや、個人消費等も緩やかながらも回復基調にある一方、ギリシャの債務問題に端を発する欧州信用不安や急激な円高の進行、株式市場の停滞など、依然として不透明な状況が続いております。

当行が主要な営業基盤としている北部九州においても、生産活動や個人消費等が緩やかに持ち直しているものの、円高や海外経済の減速等への警戒感は引き続き強い状況にあります。

他方、金融業界では、資金需要が低迷し、また資金運用利回りが低下する中で、金融機関相互の競争はますます激しいものとなっております。

このような経済情勢の中で、グループ役職員一同総力をあげて業績の一層の進展と経営の効率化に努めてまいりました結果、当行および連結子会社の業績は、連結経常収益で前中間期比8億38百万円減少の204億円、連結経常利益で前中間期比1億92百万円減少の49億66百万円、連結中間純利益で前中間期比7億97百万円増加の28億90百万円を計上いたしました。連結中間純利益の増加には当行単体での固定資産減損損失の大幅減少等が影響しています。

また、当行単体の業績は、経常収益で前中間期比7億32百万円減少の201億42百万円、経常利益で前中間期比83百万円減少の48億2百万円、中間純利益は前中間期比7億99百万円増加の28億73百万円となりました。

利益の大宗をなす資金利益につきましては、運用利回りの低下を調達利回りの低下で十分カバーできなかったため、前中間期比3億48百万円減少の139億68百万円となりました。なお貸倒引当金につきましては、足元の国内景気が緩やかに回復する中、取引先への経営支援の取組み強化等により9億9百万円の戻入益が発生しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当行および連結子会社の財政状態につきましては、平成23年9月末の譲渡性預金を含めた預金等は前期末比136億円減少の1兆8,603億円となり、総貸出金残高は前期末比26億円増加の1兆2,130億円となりました。また、平成23年9月末の連結自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.32%ポイント上昇し12.20%となりました。

当行単体の財政状態につきましては、平成23年9月末の譲渡性預金を含めた預金等は前期末比では135億円減少、前中間期末比では324億円増加し、1兆8,664億円となりました。

一方、平成23年9月末の総貸出金残高は、前期末比では26億円増加、前中間期末比では135億円増加し、1兆2,130億円となりました。

有価証券につきましては、平成23年9月末残高は前期末比では469億円増加、前中間期末比では924億円増加し、6,284億円となりました。

なお、平成23年9月末の単体自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.25%ポイント上昇し11.86%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当行および連結子会社等の平成24年3月期通期の業績見通しにつきましては、昨今の円高進行や世界的株安など内外を取り巻く環境は依然として厳しく、今後も不透明な状況が続くことが予想されることから、当中間決算の成績にかかわらず、連結経常収益391億円、連結経常利益67億円、連結当期純利益30億円を見込んでおります。

当行単体につきましても、経常収益384億円、経常利益64億円、当期純利益30億円を見込んでおります。

(連結・単体とも、本年5月13日に公表した数値に比べ、経常収益のみを6億円下方修正しております。)

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

当中間連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当中間連結会計期間の「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前中間連結会計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	65,038	61,286
コールローン及び買入手形	81,330	72,813
買入金銭債権	22,882	17,227
特定取引資産	40,067	31
金銭の信託	660	480
有価証券	582,172	629,132
貸出金	1,210,349	1,213,003
外国為替	2,171	1,811
その他資産	10,116	10,097
有形固定資産	25,240	25,051
無形固定資産	4,435	4,064
繰延税金資産	10,049	8,624
支払承諾見返	13,706	13,113
貸倒引当金	△21,140	△19,782
資産の部合計	2,047,081	2,036,953
<b>負債の部</b>		
預金	1,848,557	1,822,442
譲渡性預金	25,496	37,925
借入金	24,941	26,401
外国為替	50	29
その他負債	22,139	22,692
賞与引当金	711	702
退職給付引当金	12,383	12,627
役員退職慰労引当金	441	444
睡眠預金払戻損失引当金	107	108
再評価に係る繰延税金負債	5,603	5,578
支払承諾	13,706	13,113
負債の部合計	1,954,139	1,942,064
<b>純資産の部</b>		
資本金	16,062	16,062
資本剰余金	11,375	11,375
利益剰余金	48,418	50,823
自己株式	△882	△1,023
株主資本合計	74,973	77,237
その他有価証券評価差額金	8,177	7,802
繰延ヘッジ損益	△1	△0
土地再評価差額金	7,169	7,150
その他の包括利益累計額合計	15,346	14,953
少数株主持分	2,621	2,698
純資産の部合計	92,941	94,888
負債及び純資産の部合計	2,047,081	2,036,953

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
経常収益	21,238	20,400
資金運用収益	15,432	14,761
(うち貸出金利息)	12,011	11,216
(うち有価証券利息配当金)	3,282	3,416
信託報酬	1	1
役務取引等収益	3,318	3,428
特定取引収益	225	110
その他業務収益	2,010	977
その他経常収益	248	1,121
経常費用	16,079	15,434
資金調達費用	1,108	786
(うち預金利息)	883	563
役務取引等費用	1,351	1,255
その他業務費用	239	1
営業経費	12,645	12,405
その他経常費用	734	985
経常利益	5,158	4,966
特別利益	9	—
固定資産処分益	9	—
償却債権取立益	0	—
特別損失	2,052	226
固定資産処分損	9	19
減損損失	1,924	207
その他の特別損失	117	—
税金等調整前中間純利益	3,115	4,739
法人税、住民税及び事業税	187	135
法人税等調整額	821	1,630
法人税等合計	1,008	1,766
少数株主損益調整前中間純利益	2,106	2,973
少数株主利益	12	82
中間純利益	2,093	2,890

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	2,106	2,973
その他の包括利益	△2,292	△373
その他有価証券評価差額金	△2,293	△374
繰延ヘッジ損益	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
中間包括利益	△186	2,599
親会社株主に係る中間包括利益	△198	2,516
少数株主に係る中間包括利益	12	82



(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月 30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月 30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	16,062	16,062
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	16,062	16,062
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	11,375	11,375
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	11,375	11,375
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	46,337	48,418
当中間期変動額		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,093	2,890
自己株式の処分	△0	△0
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
当中間期変動額合計	2,675	2,404
当中間期末残高	49,013	50,823
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△1,156	△882
当中間期変動額		
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
当中間期変動額合計	△167	△141
当中間期末残高	△1,324	△1,023
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	72,617	74,973
当中間期変動額		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,093	2,890
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
当中間期変動額合計	2,508	2,263
当中間期末残高	75,125	77,237

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
当期首残高	12,658	8,177
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△2,293	△374
当中間期変動額合計	△2,293	△374
当中間期末残高	10,364	7,802
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
当期首残高	△3	△1
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	0
当中間期変動額合計	0	0
当中間期末残高	△2	△0
<b>土地再評価差額金</b>		
当期首残高	8,324	7,169
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,093	△19
当中間期変動額合計	△1,093	△19
当中間期末残高	7,230	7,150
<b>その他の包括利益累計額合計</b>		
当期首残高	20,979	15,346
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,386	△393
当中間期変動額合計	△3,386	△393
当中間期末残高	17,593	14,953
<b>少数株主持分</b>		
当期首残高	2,457	2,621
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	6	77
当中間期変動額合計	6	77
当中間期末残高	2,464	2,698

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	96,054	92,941
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,093	2,890
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,379	△316
当中間期変動額合計	△871	1,947
当中間期末残高	95,183	94,888

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

4. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当中間会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	65,038	61,285
コールローン	81,330	72,813
買入金銭債権	22,882	17,227
特定取引資産	40,067	31
金銭の信託	660	480
有価証券	581,540	628,490
貸出金	1,210,349	1,213,003
外国為替	2,171	1,811
その他資産	8,876	8,930
有形固定資産	25,161	24,971
無形固定資産	4,347	3,978
繰延税金資産	8,758	7,283
支払承諾見返	13,706	13,113
貸倒引当金	△18,122	△16,653
資産の部合計	2,046,769	2,036,766
<b>負債の部</b>		
預金	1,854,458	1,828,488
譲渡性預金	25,496	37,925
借入金	24,941	26,401
外国為替	50	29
その他負債	19,494	20,124
未払法人税等	117	101
資産除去債務	226	247
その他の負債	19,150	19,775
賞与引当金	675	666
退職給付引当金	12,258	12,500
役員退職慰労引当金	432	434
睡眠預金払戻損失引当金	107	108
再評価に係る繰延税金負債	5,603	5,578
支払承諾	13,706	13,113
負債の部合計	1,957,226	1,945,371



(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
経常収益	20,874	20,142
資金運用収益	15,428	14,755
(うち貸出金利息)	12,011	11,216
(うち有価証券利息配当金)	3,278	3,410
信託報酬	1	1
役務取引等収益	3,107	3,235
特定取引収益	225	110
その他業務収益	1,992	960
その他経常収益	118	1,077
経常費用	15,989	15,339
資金調達費用	1,111	787
(うち預金利息)	886	565
役務取引等費用	1,580	1,472
その他業務費用	239	1
営業経費	12,492	12,239
その他経常費用	564	838
経常利益	4,885	4,802
特別利益	224	—
固定資産処分益	9	—
その他の特別利益	215	—
特別損失	2,052	226
固定資産処分損	9	19
減損損失	1,924	207
その他の特別損失	117	—
税引前中間純利益	3,057	4,575
法人税、住民税及び事業税	21	21
法人税等調整額	962	1,681
法人税等合計	983	1,702
中間純利益	2,074	2,873

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月 30日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月 30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	16,062	16,062
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	16,062	16,062
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
当期首残高	11,374	11,374
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	11,374	11,374
<b>資本剰余金合計</b>		
当期首残高	11,374	11,374
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	11,374	11,374
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
当期首残高	14,926	14,926
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	14,926	14,926
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>別途積立金</b>		
当期首残高	24,800	27,800
当中間期変動額		
別途積立金の積立	3,000	2,000
当中間期変動額合計	3,000	2,000
当中間期末残高	27,800	29,800
<b>固定資産圧縮積立金</b>		
当期首残高	126	126
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	126	126
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	5,739	4,784
当中間期変動額		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,074	2,873
自己株式の処分	△0	△0
別途積立金の積立	△3,000	△2,000
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
当中間期変動額合計	△343	387
当中間期末残高	5,395	5,171



(単位：百万円)

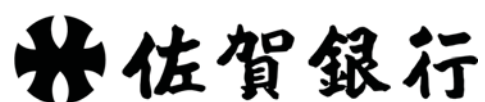
	前中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	45,591	47,636
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,074	2,873
自己株式の処分	△0	△0
別途積立金の積立	—	—
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
当中間期変動額合計	2,656	2,387
当中間期末残高	48,248	50,024
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△1,151	△876
<b>当中間期変動額</b>		
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
当中間期変動額合計	△167	△141
当中間期末残高	△1,318	△1,017
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	71,877	74,197
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,074	2,873
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
当中間期変動額合計	2,488	2,245
当中間期末残高	74,365	76,443
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
当期首残高	12,657	8,176
<b>当中間期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△2,293	△374
当中間期変動額合計	△2,293	△374
当中間期末残高	10,364	7,802
<b>繰延ヘッジ損益</b>		
当期首残高	△3	△1
<b>当中間期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	0	0
当中間期変動額合計	0	0
当中間期末残高	△2	△0

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
<b>土地再評価差額金</b>		
当期首残高	8,324	7,169
<b>当中間期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,093	△19
<b>当中間期変動額合計</b>	<b>△1,093</b>	<b>△19</b>
当中間期末残高	7,230	7,150
<b>評価・換算差額等合計</b>		
当期首残高	20,978	15,345
<b>当中間期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,386	△393
<b>当中間期変動額合計</b>	<b>△3,386</b>	<b>△393</b>
当中間期末残高	17,592	14,952
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	92,856	89,543
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△511	△505
中間純利益	2,074	2,873
自己株式の取得	△168	△141
自己株式の処分	0	0
土地再評価差額金の取崩	1,093	19
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,386	△393
<b>当中間期変動額合計</b>	<b>△898</b>	<b>1,852</b>
当中間期末残高	91,958	91,395

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

平成24年3月期  
第2四半期 (中間期)  
決算説明資料



## 【 目 次 】

<b>I 平成24年3月期第2四半期(平成23年度中間期)決算の概況</b>	
1. 損益状況	単 .....20
	連 .....22
2. 業務純益	単 .....23
3. 利鞘	単
4. 有価証券関係損益	単
5. 有価証券の評価損益	.....24
(1) 有価証券の評価基準	単・連
(2) 評価損益	単・連
6. 自己資本比率(国内基準)	単・連 .....25
7. ROE	単
8. 繰延税金資産	単 .....26
9. 預金、貸出金の残高	単 .....27
10. 預金者別預金残高	単
11. 個人預かり資産残高	単
12. 役職員数及び拠点数	
(1) 役職員数	単
(2) 拠点数	単
 <b>II 貸出金等の状況</b>	
1. リスク管理債権の状況	単・連 .....28
2. 貸倒引当金等の状況	単・連 .....29
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連
4. 金融再生法開示債権	単 .....30
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単
6. 金融再生法開示債権の引当率、 保全率の状況の詳細	単
7. 貸倒引当金控除後の不良債権比率	単 .....31
8. 部分直接償却を実施した場合の状況	.....32
(1) リスク管理債権	単
(2) 金融再生法開示債権	単
9. 不良債権の状況等	.....33
(1) 自己査定結果	単
(2) 不良債権のオフバランス化実績	単
10. 業種別貸出状況等	.....34
(1) 業種別貸出金	単
(2) 業種別リスク管理債権	単
(3) 消費者ローン残高	単
(4) 中小企業等貸出比率	単
11. 信用保証協会保証付き融資	単 .....35
12. 系列ノンバンク向け融資残高	単
13. 連結子会社・関連ノンバンクの引当 不足に対する銀行本体の支援状況	
 <b>III 業績予想</b>	
1. 業績等予想	単 .....36
2. 不良債権処理予想額	単

## I 平成24年3月期第2四半期(平成23年度中間期)決算の概況

### 1. 損益状況

【単体】

(百万円)

		23年度中間期		22年度中間期
			22年度中間期比	
業務粗利益	1	16,803	△ 1,021	17,824
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	( 15,941 )	( △ 199 )	( 16,140 )
国内業務粗利益	3	16,465	△ 1,129	17,594
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	( 15,766 )	( △ 233 )	( 15,999 )
資金利益	5	13,885	△ 374	14,259
役務取引等利益	6	1,735	236	1,499
特定取引利益	7	110	△ 115	225
その他業務利益	8	734	△ 876	1,610
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	9	( 698 )	( △ 896 )	( 1,594 )
国際業務粗利益	10	337	108	229
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	11	( 174 )	( 34 )	( 140 )
資金利益	12	83	26	57
役務取引等利益	13	29	0	29
特定取引利益	14	—	—	—
その他業務利益	15	225	82	143
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	16	( 162 )	( 73 )	( 89 )
経費(除く臨時処理分)	17	12,200	△ 252	12,452
人件費	18	6,605	△ 124	6,729
物件費	19	5,041	△ 107	5,148
税金	20	554	△ 20	574
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	21	4,602	△ 769	5,371
(増減率(%))(注)	22		( △ 14.31 )	
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	23	( 3,740 )	( 53 )	( 3,687 )
一般貸倒引当金繰入額①	24	—	—	—
業務純益	25	4,602	△ 769	5,371
(増減率(%))(注)	26		( △ 14.31 )	
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	27	( 861 )	( △ 823 )	( 1,684 )
臨時損益	28	200	686	△ 486
不良債権処理額②	29	94	△ 174	268
貸出金償却	30	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	31	—	—	—
延滞債権等売却損	32	41	△ 119	160
その他	33	53	△ 55	108
貸倒引当金戻入益③	34	909	909	—
償却債権取立益④	35	0	0	—
株式等関係損益(3勘定戻)	36	△ 461	△ 292	△ 169
株式等売却益	37	1	1	0
株式等売却損	38	—	—	—
株式等償却	39	462	293	169
その他臨時損益	40	△ 153	△ 105	△ 48
経常利益	41	4,802	△ 83	4,885
特別損益	42	△ 226	1,601	△ 1,827
うち固定資産処分損益	43	△ 19	△ 19	△ 0
固定資産処分益	44	—	△ 9	9
固定資産処分損	45	19	10	9
うち減損損失	46	207	△ 1,717	1,924
うち貸倒引当金戻入益③	47	—	△ 215	215
うち償却債権取立益④	48	—	—	—
税引前中間純利益	49	4,575	1,518	3,057
法人税、住民税及び事業税	50	21	—	21
法人税等調整額	51	1,681	719	962
中間純利益	52	2,873	799	2,074
与信費用(①+②-③-④)	53	△ 815	△ 868	53

(注)業務純益の増減率=(23年度中間期実績÷22年度中間期実績-1)×100

ご 参 考

「金融商品会計に関する実務指針」に基づき、当中間期の「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は「臨時損益（その他の経常収益）」に計上しておりますが、前年同期については「特別損益」に計上（従来の表示）しております。

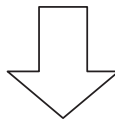
そこで、経常利益等の比較を容易にするために、前年同期（平成22年度中間期）を当中間期の表示方法に修正して比較すると、次のようになります。

【単体】

<前頁の表示>

(百万円)

		23年度中間期	22年度中間期	前年同期比
		(A)	(B)	(A) - (B)
業務純益	25	4,602	5,371	△ 769
臨時損益	28	200	△ 486	686
うち不良債権処理額②	29	94	268	△ 174
うち個別貸倒引当金繰入額	31	—	—	—
うち貸倒引当金戻入益③	34	909	—	909
うち償却債権取立益④	35	0	—	0
経常利益	41	4,802	4,885	△ 83
特別損益	42	△ 226	△ 1,827	1,601
うち貸倒引当金戻入益③	47	—	215	△ 215
うち償却債権取立益④	48	—	—	—



【単体】

<平成22年度中間期を平成23年度中間期の表示方法にあわせた場合の表示に修正>

(百万円)

		23年度中間期	22年度中間期	前年同期比
		(A)	(B)	(A) - (B)
業務純益	25	4,602	5,371	△ 769
臨時損益	28	200	△ 271	471
うち不良債権処理額②	29	94	268	△ 174
うち個別貸倒引当金繰入額	31	—	—	—
うち貸倒引当金戻入益③	34	909	215	694
うち償却債権取立益④	35	0	—	0
経常利益	41	4,802	5,100	△ 298
特別損益	42	△ 226	△ 2,043	1,817

【連結】

(連結損益計算書ベース)

(百万円)

		23年度中間期		22年度中間期
				22年度中間期比
連結粗利益(注)	1	17,236	△ 1,052	18,288
資金利益	2	13,975	△ 348	14,323
役務取引等利益	3	2,174	206	1,968
特定取引利益	4	110	△ 115	225
その他業務利益	5	976	△ 794	1,770
営業経費	6	12,405	△ 240	12,645
貸倒償却引当費用	7	△ 679	△ 794	115
貸出金償却	8	115	105	10
個別貸倒引当金繰入額	9	278	109	169
一般貸倒引当金繰入額	10	△ 1,073	△ 1,010	△ 63
株式等関係損益	11	△ 461	△ 292	△ 169
持分法による投資損益	12	9	△ 2	11
その他	13	△ 92	120	△ 212
経常利益	14	4,966	△ 192	5,158
特別損益	15	△ 226	1,816	△ 2,042
税金等調整前中間純利益	16	4,739	1,624	3,115
法人税、住民税及び事業税	17	135	△ 52	187
法人税等調整額	18	1,630	809	821
少数株主利益	19	82	70	12
中間純利益	20	2,890	797	2,093

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(百万円)

連結業務純益	21	4,773	△ 660	5,433
--------	----	-------	-------	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社経常利益 + 関連会社経常利益 × 持分 - 内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	22	3	—	3
持分法適用会社数	23	2	—	2



2. 業務純益【単体】

(百万円)

	23年度中間期	22年度中間期比	
		22年度中間期	
(1)業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,602	△ 769	5,371
職員一人当たり(千円)	3,173	△ 488	3,661
(2)業務純益	4,602	△ 769	5,371
職員一人当たり(千円)	3,173	△ 488	3,661

3. 利鞘

【単体】

(%)

	23年度中間期	22年度中間期比	
		22年度中間期	
(1)資金運用利回(A)	1.49	△ 0.16	1.65
(イ)貸出金利回	1.85	△ 0.12	1.97
(ロ)有価証券利回	1.13	△ 0.10	1.23
(2)資金調達原価(B)	1.32	△ 0.09	1.41
(イ)預金等利回	0.06	△ 0.04	0.10
(ロ)外部負債利回	1.39	△ 0.17	1.56
(3)総資金利鞘(A) - (B)	0.17	△ 0.07	0.24

【単体】国内部門

(%)

	23年度中間期	22年度中間期比	
		22年度中間期	
(1)資金運用利回(A)	1.49	△ 0.16	1.65
(イ)貸出金利回	1.85	△ 0.12	1.97
(ロ)有価証券利回	1.12	△ 0.11	1.23
(2)資金調達原価(B)	1.28	△ 0.09	1.37
(イ)預金等利回	0.06	△ 0.04	0.10
(ロ)外部負債利回	1.40	△ 0.16	1.56
(3)総資金利鞘(A) - (B)	0.21	△ 0.07	0.28

4. 有価証券関係損益【単体】

(百万円)

	23年度中間期	22年度中間期比	
		22年度中間期	
国債等債券損益(5勘定戻)	861	△ 823	1,684
売却益	863	△ 913	1,776
償還益	—	—	—
売却損	—	—	—
償還損	—	—	—
償却	1	△ 90	91
株式等損益(3勘定戻)	△ 461	△ 292	△ 169
売却益	1	1	0
売却損	—	—	—
償却	462	293	169

5. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準【単体】 【連結】

保有目的区分	評価基準
売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的の債券	償却原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)

(参考) 金銭の信託中の有価証券

運用目的の金銭の信託	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的の金銭の信託	償却原価法
その他の金銭の信託	時価法(評価差額を全部純資産直入)

(2) 評価損益

【単体】

(百万円)

	23年9月末				23年3月末		
	評価損益	前期比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△ 1	7	6	8	△ 8	6	15
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	13,058	△ 606	22,924	9,866	13,664	21,222	7,558
株式	6,266	81	11,553	5,286	6,185	10,498	4,313
債券	10,794	1,967	11,206	412	8,827	10,403	1,576
その他	△ 4,002	△ 2,654	165	4,167	△ 1,348	321	1,669
合計	13,057	△ 599	22,931	9,874	13,656	21,229	7,573

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額の差額を計上しております。

【連結】

(百万円)

	23年9月末				23年3月末		
	評価損益	前期比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△ 1	7	6	8	△ 8	6	15
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	13,058	△ 606	22,924	9,866	13,664	21,222	7,558
株式	6,266	81	11,553	5,286	6,185	10,498	4,313
債券	10,794	1,967	11,206	412	8,827	10,403	1,576
その他	△ 4,002	△ 2,654	165	4,167	△ 1,348	321	1,669
合計	13,057	△ 599	22,931	9,874	13,656	21,229	7,573

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結貸借対照表価額と取得価額の差額を計上しております。

6. 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

(百万円、%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
(1)自己資本比率	11.86%	0.25%	0.18%	11.61%	11.68%
(2)Tier I比率	8.39%	0.29%	0.24%	8.10%	8.15%
(3)Tier I	75,939	2,248	2,083	73,691	73,856
(4)Tier II	31,387	△ 544	△ 566	31,931	31,953
(イ)うち自己資本に計上された 有価証券含み益	—	—	—	—	—
(ロ)うち自己資本に計上された 再評価差額	5,728	△ 20	△ 65	5,748	5,793
(ハ)うち劣後ローン残高	20,500	—	—	20,500	20,500
(5)控除項目	—	—	—	—	—
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	—	—	—	—	—
(6)自己資本(3)+(4)-(5)	107,327	1,704	1,518	105,623	105,809
(7)リスクアセット	904,573	△ 4,789	△ 896	909,362	905,469

(注)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

【連結】

(百万円、%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
(1)自己資本比率	12.20%	0.32%	0.26%	11.88%	11.94%
(2)Tier I比率	8.74%	0.31%	0.27%	8.43%	8.47%
(3)Tier I	79,431	2,348	2,351	77,083	77,080
(4)Tier II	31,908	△ 50	△ 72	31,958	31,980
(イ)うち自己資本に計上された 有価証券含み益	—	—	—	—	—
(ロ)うち自己資本に計上された 再評価差額	5,728	△ 20	△ 65	5,748	5,793
(ハ)うち劣後ローン残高	20,500	—	—	20,500	20,500
(5)控除項目	428	10	17	418	411
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	—	—	—	—	—
(6)自己資本(3)+(4)-(5)	110,911	2,288	2,262	108,623	108,649
(7)リスクアセット	908,750	△ 4,831	△ 1,029	913,581	909,779

(注)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

7. ROE【単体】

(%)

	23年度中間期		22年度中間期
		22年度中間期比	
業務純益ベース(一般貸倒引当金繰入前)	10.14	△ 1.45	11.59
業務純益ベース	10.14	△ 1.45	11.59
当期純利益ベース	6.33	1.86	4.47

(注)分母となる純資産平均残高は(期首純資産の部+期末純資産の部)÷2を使用しております。

8. 繰延税金資産

当行の繰延税金資産と自己資本比率の関係は次のとおりです。

【単体】

(百万円)

		23年9月末	23年3月末	22年9月末
繰延税金資産 (BS計上額)	① ※	7,283	8,758	8,779
繰延税金資産	②	12,673	14,333	15,827
繰延税金負債	③	5,390	5,574	7,048
中核的自己資本 (Tier I)	④	75,939	73,691	73,856
リスクアセット	⑤	904,573	909,362	905,469
繰延税金資産控除後	$(④-①) \div ⑤ \times 100$	7.58 %	7.14 %	7.18 %
Tier I 比率	$(④-②) \div ⑤ \times 100$	6.99 %	6.52 %	6.40 %
中核的自己資本に占める	$① \div ④ \times 100$	9.59 %	11.88 %	11.88 %
繰延税金資産の割合	$② \div ④ \times 100$	16.68 %	19.45 %	21.43 %

※繰延税金資産は、繰延税金負債と相殺してNETで貸借対照表に計上しております。

9. 預金、貸出金の残高【単体】

(百万円)

		23年9月期			23年3月期	22年9月期
			23年3月期比	22年9月期比		
預金	末 残	1,828,488	△ 25,970	32,139	1,854,458	1,796,349
	平 残	1,868,357	43,352	37,939	1,825,005	1,830,418
貸出金	末 残	1,213,003	2,654	13,520	1,210,349	1,199,483
	平 残	1,207,676	1,569	△ 3,668	1,206,107	1,211,344

10. 預金者別預金残高（平成23年9月末残）

【単体】

(百万円)

	個人	一般法人	その他	合計
流動性預金	637,229	274,384	81,739	993,353
定期性預金	670,730	122,135	42,268	835,134
合計	1,307,960	396,519	124,008	1,828,488

11. 個人預かり資産残高【単体】

(百万円)

	23年9月期			23年3月期	22年9月期
		23年3月期比	22年9月期比		
個人預かり資産	247,404	5,185	7,508	242,219	239,896

(注) 個人預かり資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

12. 役職員数及び拠点数

(1) 役職員数【単体】

(人)

	23年9月末	23年3月末	22年9月末
役員数	12	12	12
従業員数	1,472	1,455	1,488

(注) 従業員数には、臨時雇員及び嘱託は含まれておりません。

(2) 拠点数【単体】

(か所)

	23年9月末	23年3月末	22年9月末
国内本支店	81	81	83
国内出張所	19	19	19

## II 貸出金等の状況

### 1. リスク管理債権の状況

(部分直接償却：未実施)

(未収利息不計上基準：自己査定基準)

【単体】

(百万円)

		23年9月末	23年3月末比	22年9月末比	23年3月末	22年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	3,340	366	△ 1,397	2,974	4,737
	延滞債権	29,968	△ 1,481	1,458	31,449	28,510
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	6,789	705	2,466	6,084	4,323
	合計	40,097	△ 411	2,525	40,508	37,572

貸出金残高(末残)	1,213,003	2,654	13,520	1,210,349	1,199,483
-----------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.27	0.03	△ 0.12	0.24	0.39
	延滞債権	2.47	△ 0.12	0.10	2.59	2.37
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.55	0.05	0.19	0.50	0.36
	合計	3.30	△ 0.04	0.17	3.34	3.13

【連結】

(百万円)

		23年9月末	23年3月末比	22年9月末比	23年3月末	22年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	4,412	299	△ 1,702	4,113	6,114
	延滞債権	29,968	△ 1,481	1,458	31,449	28,510
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	6,789	705	2,466	6,084	4,323
	合計	41,169	△ 478	2,220	41,647	38,949

貸出金残高(末残)	1,214,076	2,588	13,215	1,211,488	1,200,861
-----------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(注) 連結ベースにおいては、「求償債権」を貸出金に準じる資産として計上しております。

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.36	0.03	△ 0.14	0.33	0.50
	延滞債権	2.46	△ 0.13	0.09	2.59	2.37
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.55	0.05	0.19	0.50	0.36
	合計	3.39	△ 0.04	0.15	3.43	3.24

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(百万円)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
貸倒引当金	16,653	△ 1,469	△ 2,817	18,122	19,470
一般貸倒引当金	5,159	△ 1,201	△ 2,120	6,360	7,279
個別貸倒引当金	11,494	△ 268	△ 697	11,762	12,191
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

特定債務者支援引当金	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

【連結】

(百万円)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
貸倒引当金	19,782	△ 1,358	△ 2,973	21,140	22,755
一般貸倒引当金	7,381	△ 1,073	△ 1,991	8,454	9,372
個別貸倒引当金	12,401	△ 285	△ 981	12,686	13,382
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

3. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
リスク管理債権に対する引当率	30.61	△ 2.13	△ 2.07	32.74	32.68

【連結】

(%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
リスク管理債権に対する引当率	31.28	△ 2.77	△ 3.29	34.05	34.57

(注) リスク管理債権に対する引当率

= (個別貸倒引当金+金融再生法開示債権の要管理先債権に対する一般貸倒引当金) ÷ リスク管理債権 × 100

4. 金融再生法開示債権

【単体】

(百万円、%)

	23年9月末	23年3月末比		23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,635	690	△ 1,286	14,945	16,921
危険債権	18,193	△ 1,889	500	20,082	17,693
要管理債権	6,789	705	2,466	6,084	4,323
合計 (A)	40,618	△ 494	1,679	41,112	38,939
正常債権	1,189,092	2,511	9,588	1,186,581	1,179,504
(総計) (B)	1,229,710	2,017	11,267	1,227,693	1,218,443
不良債権比率 (A) / (B)	3.30	△ 0.04	0.11	3.34	3.19

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(百万円)

	23年9月末	23年3月末比		23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
保全額 (C)	35,084	△ 1,164	△ 20	36,248	35,104
貸倒引当金 (注)	12,786	△ 715	△ 379	13,501	13,165
特定債務者引当金	—	—	—	—	—
担保保証等	22,297	△ 450	358	22,747	21,939

(注) 金融再生法開示債権に対する個別貸倒引当金及び要管理先債権に対する一般貸倒引当金の合計額を記載しております。

(%)

保全率 (C) / (A)	86.37	△ 1.79	△ 3.78	88.16	90.15
---------------	-------	--------	--------	-------	-------

6. 金融再生法開示債権の引当率、保全率の状況の詳細 (平成23年9月末)

【単体】

(百万円、%)

	債権残高 (A)	担保等による 保 全 額 (B)	貸倒引当金 (C)	(B)+(C)	保全及び 引 当 率 $\frac{(B)+(C)}{(A)}$
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,635	8,599	7,035	15,635	100.00
危険債権	18,193	11,197	4,342	15,539	85.41
要管理債権 (注)	6,789	2,499	1,408	3,908	57.57
(合計)	40,618	22,297	12,786	35,084	86.37
正常債権	1,189,092		3,750		
(総計)	1,229,710		16,537		

(注) 要管理債権に対する貸倒引当金は要管理先債権に対する一般貸倒引当金を記載しております。



7. 貸倒引当金控除後の不良債権比率

【単体】 (百万円、%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
金融再生法開示債権 A	40,618	△ 494	1,679	41,112	38,939
貸倒引当金 B (注)	12,786	△ 715	△ 379	13,501	13,165
差引 C = A - B	27,831	220	2,058	27,611	25,773
債権総額(含む正常債権) D	1,229,710	2,017	11,267	1,227,693	1,218,443
C ÷ D × 100	2.26	0.02	0.15	2.24	2.11

(注) 金融再生法開示債権に対する個別貸倒引当金及び要管理先債権に対する一般貸倒引当金の合計額を記載しております。

※ 従来から、要管理債権への引当金は、要管理先債権への引当金を表記しておりますが、要管理先債権に占める要管理債権の残高相当分(金額按分)の一般貸倒引当金をもって比率を算出すると以下のとおりとなります。

【単体】 (百万円、%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
金融再生法開示債権 A	40,618	△ 494	1,679	41,112	38,939
貸倒引当金 B	12,211	△ 463	△ 619	12,674	12,830
差引 C = A - B	28,406	△ 31	2,298	28,437	26,108
債権総額(含む正常債権) D	1,229,710	2,017	11,267	1,227,693	1,218,443
C ÷ D × 100	2.31	0.00	0.17	2.31	2.14

8. 部分直接償却を実施した場合の状況

- 部分直接償却とは  
自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。
- 当行は「部分直接償却」を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

(1) リスク管理債権

【単体】

(百万円)

	23年9月末	23年3月末比		23年3月末	22年9月末	
		23年3月末比	22年9月末比			
リスク管理債権	破綻先債権	1,667	250	138	1,417	1,529
	延滞債権	25,358	△ 1,623	812	26,981	24,546
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	6,789	705	2,466	6,084	4,323
	合計	33,814	△ 669	3,414	34,483	30,400

部分直接償却額	6,282	257	△ 890	6,025	7,172
---------	-------	-----	-------	-------	-------

貸出金残高（未残）	1,206,720	2,396	14,409	1,204,324	1,192,311
-----------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.13	0.02	0.01	0.11	0.12
	延滞債権	2.10	△ 0.14	0.05	2.24	2.05
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.56	0.06	0.20	0.50	0.36
	合計	2.80	△ 0.06	0.26	2.86	2.54

(2) 金融再生法開示債権

【単体】

(百万円)

	23年9月末	23年3月末比		23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,094	407	223	8,687	8,871
危険債権	18,193	△ 1,889	500	20,082	17,693
要管理債権	6,789	705	2,466	6,084	4,323
合計（A）	34,076	△ 778	3,188	34,854	30,888
正常債権	1,189,092	2,511	9,588	1,186,581	1,179,504
（総計）（B）	1,223,169	1,734	12,776	1,221,435	1,210,393

部分直接償却額	6,541	283	△ 1,509	6,258	8,050
---------	-------	-----	---------	-------	-------

(%)

（A）／（B）	2.78	△ 0.07	0.23	2.85	2.55
---------	------	--------	------	------	------

9. 不良債権の状況等

(1) 自己査定結果 【単体】

①自己査定（債務者区分）

(百万円)

	23年9月末		22年9月末比	23年3月末	22年9月末
	金額	構成比率			
破綻・実質破綻先①	15,635	690	△ 1,286	14,945	16,921
破綻懸念先②	18,193	△ 1,889	500	20,082	17,693
(①+②)	33,828	△ 1,200	△ 787	35,028	34,615
要注意先③	217,087	△ 6,330	△ 11,347	223,417	228,434
要管理債権④	6,789	705	2,466	6,084	4,323
合計 (①+②+③)	250,916	△ 7,529	△ 12,133	258,445	263,049

金融再生法開示債権 (①+②+④)	40,618	△ 494	1,679	41,112	38,939
----------------------	--------	-------	-------	--------	--------

②自己査定（分類状況）

(百万円)

	23年9月末		23年3月末		22年9月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,229,710	100.00%	1,227,693	100.00%	1,218,443	100.00%
非分類額	1,078,992	87.74%	1,070,049	87.15%	1,054,386	86.53%
分類額合計	150,717	12.25%	157,644	12.84%	164,056	13.46%
Ⅱ分類	148,064	12.04%	154,806	12.60%	161,780	13.27%
Ⅲ分類	2,653	0.21%	2,838	0.23%	2,276	0.18%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高—貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返等の残高です。分類額は、個別貸倒引当金控除後の残高です。

非分類-----Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類-----回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類-----最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類-----回収不可能又は無価値と判断される資産。

(2) 不良債権のオフバランス化実績 【単体】

(百万円)

	23年上期	22年下期	22年上期	21年下期
破綻懸念先以下の債権残高	33,828	35,028	34,615	34,082
うち期中新規発生額	3,843	6,948	5,105	5,995
期中減少額	△ 5,042	△ 6,535	△ 4,573	△ 6,457
清算型処理 (注1)	—	—	—	—
再建型処理 (注2)	—	—	—	△ 221
債権流動化	△ 811	△ 2,340	△ 1,173	△ 2,122
直接償却	△ 0	△ 144	—	△ 6
その他	△ 4,231	△ 4,051	△ 3,399	△ 4,107
回収・返済	△ 3,841	△ 3,728	△ 2,828	△ 2,717
業況改善	△ 389	△ 322	△ 571	△ 1,389

(注1) 清算型倒産手続（破産、特別清算）による債権切捨て・債権償却等

(注2) 再建型倒産手続（会社更生、民事再生、会社整理）による債権切捨て、私的整理による債権放棄等

10. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(百万円)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	1,213,003	2,654	13,520	1,210,349	1,199,483
製造業	124,185	879	2,880	123,306	121,305
農業、林業	1,534	93	△ 18	1,441	1,552
漁業	1,795	△ 110	△ 119	1,905	1,914
鉱業、採石業、砂利採取業	2,085	△ 71	625	2,156	1,460
建設業	57,879	△ 3,456	△ 4,559	61,335	62,438
電気・ガス・熱供給・水道業	12,367	699	97	11,668	12,270
情報通信業	8,447	336	2,004	8,111	6,443
運輸業、郵便業	48,769	4,929	7,758	43,840	41,011
卸売業、小売業	152,379	594	△ 1,390	151,785	153,769
金融業、保険業	24,514	703	1,708	23,811	22,806
不動産業、物品賃貸業	151,487	3,659	10,737	147,828	140,750
各種サービス業	156,690	△ 9,931	△ 11,353	166,621	168,043
地方公共団体	151,165	2,479	9,303	148,686	141,862
その他	319,700	1,851	△ 4,153	317,849	323,853

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(百万円)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	40,097	△ 411	2,525	40,508	37,572
製造業	4,141	240	1,272	3,901	2,869
農業、林業	101	△ 15	△ 19	116	120
漁業	1	1	△ 15	0	16
鉱業、採石業、砂利採取業	848	△ 90	448	938	400
建設業	5,850	△ 388	1,297	6,238	4,553
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	343	24	△ 15	319	358
運輸業、郵便業	3,299	116	△ 100	3,183	3,399
卸売業、小売業	9,962	162	372	9,800	9,590
金融業、保険業	11	△ 1	△ 2	12	13
不動産業、物品賃貸業	2,452	30	321	2,422	2,131
各種サービス業	6,725	△ 1,450	△ 2,015	8,175	8,740
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	6,359	960	984	5,399	5,375

(3) 消費者ローン残高【単体】

(百万円)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
消費者ローン残高	323,219	△ 3,765	△ 7,848	326,984	331,067
住宅ローン残高	283,287	△ 2,958	△ 5,933	286,245	289,220
その他ローン残高	39,932	△ 806	△ 1,915	40,738	41,847

(4) 中小企業等貸出比率【単体】

(百万円、%)

	23年9月末			23年3月末	22年9月末
		23年3月末比	22年9月末比		
中小企業等貸出残高	860,699	△ 8,778	△ 5,306	869,477	866,005
中小企業等貸出比率	70.95	△ 0.88	△ 1.24	71.83	72.19

1 1. 信用保証協会保証付き融資

【単体】

(百万円)

	23年9月末	23年3月末	22年9月末	22年3月末
残高	95,197	97,787	95,777	98,174
うち金融安定化特別保証	272	366	409	476
うち 緊急保証	53,049	54,350	49,503	48,056

1 2. 系列ノンバンク向け融資残高

【単体】

(百万円)

	23年9月末	23年3月末	22年9月末	22年3月末
融資残高	3,912	4,112	3,801	4,081

1 3. 連結子会社・関連ノンバンクの引当不足に対する銀行本体の支援状況(平成23年度上期)

・該当ございません

### Ⅲ 業績予想

#### 1. 業績等予想

【単体】

(百万円)

	24年3月期予想		23年3月期実績	
		23年9月期実績		22年9月期実績
経常収益	38,400 (39,000)	20,142 (19,400)	40,217 (40,700)	20,874 (20,500)
経常利益	6,400 (6,400)	4,802 (3,100)	7,220 (8,400)	4,885 (3,600)
当期純利益	3,000 (3,000)	2,873 (1,200)	2,660 (3,600)	2,074 (1,100)
業務純益	11,400 (9,500)	4,602 (4,800)	10,406 (10,700)	5,371 (4,900)
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	8,900 (9,300)	4,602 (4,600)	9,223 (10,300)	5,371 (5,200)
債券5勘定戻	1,600 (1,200)	861 (600)	1,695 (1,100)	1,684 (600)

(注) ・ 括弧内の数値は期初の予想であります。

- ・ 平成23年10月18日に、平成23年9月期予想について、経常収益を201億円、経常利益を48億円、中間純利益を28億円とする業績予想の修正を公表しております。
- ・ なお、本日、平成24年3月期通期の経常収益について、上記のとおり業績予想の修正を行っております。

#### 2. 不良債権処理予想額

【単体】

(百万円)

	24年3月期予想		23年3月期実績	
		23年9月期実績		22年9月期実績
一般貸倒引当金含む	1,300 (2,400)	△ 815 (1,300)	1,149 (1,600)	53 (1,300)
一般貸倒引当金含まない	3,800 (2,600)	385 (1,500)	2,332 (2,000)	317 (1,000)

(注)括弧内の数値は期初の予想であります。

以 上